



学校だよりNO23

令和3年9月24日

児童数 471人

薫っ子



文責 校長 古川 次男

過程が大切です

10月13日の陸上競技交歓会を目指し、厳しい練習に取り組む6年生のみなさん。筋肉痛に悩まされる日々を送っていることだと思います。今年は、昨年度以上に厳しい条件となり、過日お知らせしたように6年生全員の参加ではなくなっていました。しかし、だからといって練習をやめてしまうのはどうでしょう？

新型コロナウイルスは、本当に私たちの生活、学校生活を大きく変えてしまいました。感染防止対策を考えながらの教育活動は、子どもたちにかかなりのストレスをかけていることと思います。

当日は、参加できなくても体力づくりの視点から考えれば、陸上の練習はとても意義のあることだと思います。昨年度までは、行えていた練習。それにより、体力向上を6年生全員に保障していたわけです。それを、今年度は全員参加でなくなってしまったからといって練習をやめてしまったとしたら、明らかに体力の低下になるのではないのでしょうか？さらに、練習の過程が、大切です。記録の伸びを感じながら、日々成長する6年生。中には、思うように記録が伸びずに、悩む児童もいるはずですが、そういった経験ができるからこそ、今後の生きる力になると信じています。「何かにチャレンジすること」が、学校教育の中では、大切にされるべきことのように思います。

一方、合奏部のみなさんは、9月30日の合奏祭に向けてがんばっています。放課後はもちろん、土曜日にも練習を続けています。コロナ禍で、十分な練習時間を取りにくい中ではありますが、がんばって練習している姿を見ると「がんばって」と後ろから励ましの声をかけてあげたくなります。

各パートでは、それぞれに難しさがあるのだと思いますが、パートリーダーを中心にまとまって練習する姿があります。上級生から下級生へ、演奏の仕方を教えてあげようとする姿などを見ていると、「ただうまくなればよい。」という技術的なものだけではなく、先輩が後輩を思いやる気持ちまで伝わっていくように感じます。結果として素晴らしい演奏も大事なのだと思いますが、こうした練習過程も大切なことだと思います。

